

てるみち よしあき
■ 暁道 佳明

上智大学学長。1985年慶應義塾大学理工学部卒業、1990年慶應義塾大学大学院理工学研究科博士前期課程修了、1994年慶應義塾大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得満期退学。専攻は機械工学。1994年東京大学生産技術研究所助手、1998年上智大学理工学部助教授、2004年上智大学理工学部教授、2011年上智大学学務担当副学長、2017年上智大学学長、2018年一般社団法人私学研修福祉会理事長、2019年一般社団法人日本私立大学連盟副会長。主著として「機械工学テキストシリーズ1 機械力学」(共著)朝倉書店、2006年。「マルチボディダイナミクス(2)」(共著)コロナ社、2007年。

いのうえ たつひこ
■ 井上 達彦

早稲田大学商学学術院教授。1997年神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了、博士(経営学)。広島大学社会人大学院マネジメント専攻助教授、早稲田大学商学部助教授(大学院商学研究科夜間MBAコース兼務)などを経て、2008年より現職。2003年経営情報学会論文賞受賞。独立行政法人経済産業研究所(RIETI)ファカルティフェロー、ペンシルベニア大学ウォートンスクール・シニアフェローなどを歴任。著書として、『ビジネスモデル完全マニュアル』東洋経済、2019年。『模倣の経営学—実践プログラム版』日経BP社、2017年(オリジナル版が中国、台湾、韓国、タイの4つの国と地域で翻訳)。『模倣の経営学—偉大なる会社はマネから生まれる』日経ビジネス人文庫、2015年。『ブラックスワンの経営学—通説をくつがえした世界最優秀ケーススタディ』日経BP社、2014年(DIAMONDハーバード・ビジネスレビュー読者が選ぶベスト経営書2014、9位、『週刊ダイヤモンド』ベスト経済書2014、9位)。

つつい けんた
■ 筒井 研多

日本工業大学産学連携起業教育センターコーディネータ、株式会社ツイストブレインズ代表取締役。1974年生まれ。慶應義塾大学情報工学科中退、中小複写業社の新事業企画開発室にてベンチャー企業立ち上げに参画。2006年に株式会社ツイストブレインズを創業以降、中小零細企業に対するICT活用を中心としたコンサルティングを行っている。2011年日本工業大学金型教育事業部、2015年より現職。日本工業大学専門職大学院中小企業技術経営コース修士課程卒業(専門職)。

てらもと だいすけ
■ 寺本 大修

近畿大学アカデミックシアター事務室主任。2008年3月、近畿大学経営学部経営学科卒業。2008年4月、西日本電信電話株式会社に入社。新規事業開発部門でO2O、FinTech、インバウンド関連サービスの立ち上げに従事。2016年4月、学校法人近畿大学に奉職し起業家人材育成に関する企画、運営などを担当。

みない たかひさ
■ 薬袋 貴久

昭和女子大学グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科准教授。1995年慶應義塾大学総合政策学部卒業。1997年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。日本電信電話株式会社本社にて企画・マーケティング業務に従事した後、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程満期退学。専門領域はマーケティング戦略論。2011年昭和女子大学人間社会学部現代教養学科専任講師。グローバルビジネス学部設立に携わり2014年より現職。2017年4月～2019年3月ビジネスデザイン学科長。(一財)日本ヘルスケア協会理事、日本ヘルスケア学会常任理事、日本フードサービス学会監事、(一社)日本能率協会マーケティング総合大会企画委員を務める。著書として、『創発する営業』(共著:丸善出版)、『創発するマーケティング』(共著:日経BP企画)などがある。

かとう きよたか
■ 加藤 清孝

阪南大学流通学部教授、副学長。1985年早稲田大学教育学部卒業、2005年University of Connecticut博士課程終了 Ph.D.。専攻はスポーツマネジメント。1987年札幌第一高等学校教諭、2004年国際教養大学専任講師(2009年准教授、2018年から客員教授)、2010年阪南大学准教授(2013年教授、2018年副学長)。主著として加藤清孝編著(2011)、『実践から読み解くスポーツマネジメント』。晃学出版、加藤清孝(2009)、『女性専用フィットネスクラブ選択へ影響を及ぼす要因の質的研究』、『スポーツマネジメント研究』.1(1)5-18。

おのでら ただし
■ 小野寺 忠司

山形大学国際事業化研究センター長。1960年2月24日誕生。1982年4月米沢日本電気入社。入社3年目でアメリカに出向、全米を飛び回る。当時NEC初のディストリビュータから個人として表彰を頂く。NEC初のPC98ノートの開発を皮切りに、TFT液晶ノートPCや水冷PC等、テクノロジーをリードし数々の機種開発・企画に従事し、NECノートパソコンの基盤を作る。2012年にレノボとの合併後、NECパーソナルコンピュータ執行役員、レノボ役員に就任。世界最軽量PCの開発ではBest of CES Awards 2015"ベストPC賞を25個を受賞。自然言語認識AIをスタンフォード大学研究所(SRI)と共同開発し、事業を立ち上げる。また、SRIのサポートでYRI(Y Research Innovation)を立ち上げて地域イノベーション創出に向けて活動をスタート。2017年4月山形大学へ。国際事業化研究センター長、有機材料システム事業創出センター長に就任。国際事業化研究センターではイノベーション創出に向けた活動やアントレプレナー教育、経営人材育成教育などを手掛ける。

*本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。